

## 神室少年自然の家 川遊びについて

【時期】 6月下旬～9月上旬

【所要時間】 3時間以上 ※当日の利用団体数によっては、他団体と合同で実施する場合があります。

【対象】 小学校中学年以上 <幼児・小学校の低学年は、保護者同伴>

※事前のグループ分けが必要な場合があります。

※ボートの定員は、子ども6名まで。大人4名（体格等により、調整が必要）

【準備】（個人）ぬれてもよい服装

<上下長袖のジャージなどの乾きやすい服 靴下 服の下に水着を着用>

タオル、バスタオル、着替え、濡れたものを入れる袋、ゴーグル、手袋

飲み物（熱中症予防のため）、

※ぬれてもよい靴（靴のサイズが23.0cm以上の方には、沢たびをお貸しします。靴のサイズが小さいお子さんは、かかとのある靴をご持参ください。）

（団体）緊急車両、救急セット、ホイッスル、軽トラック（ゴムボートを運ぶため）、脚立（えん堤を上りやすくするため）

安全管理のため、団体引率者も川に入って指導に加わっていただきます。上記の個人装備の準備をしてください。

（自然の家）ゴムボート、パドル、足踏みポンプ、ライフジャケット、ヘルメット、沢たび

【展開例】

1. ピロティ2Fに、ぬれてもよい服装に着替えて集まる。
2. 代表引率者は参加者数、待機者数、引率指導者数を職員に報告する。
3. 職員による説明・諸注意→ライフジャケット・ヘルメット・沢たびを着用。
4. 川に移動する。Aポイントまでは20分 Bポイントまで40分（ボート等は、団体で運搬する。）
5. 職員、引率指導者は指導ポイントに移動、活動準備を行う。
6. 引率指導者の指示により、ボート遊び、ボディラフティング、自由遊びをする。  
・適宜、人数の確認をする。 ・バディシステムで遊ぶ。 ・必要に応じて休憩、保温を行う。
7. 活動終了後、後片づけをする。  
・寒くなる前に川から上がる。
8. 使用した用具は、ピロティで水洗いをし、所定の場所に返却したり、乾燥させたりする。  
・ライフジャケット・ヘルメット・ボート・パドル
9. 浴室で着替えをする。

【指導上の留意点】

1. 川に向かう児童生徒及び引率指導者全員が、ライフジャケット・ヘルメット着用する。また、川に入る（ぬれる）ことを前提に、衣類や持ち物を準備する。
2. 自然の家職員は、団体の引率指導者への指導・アドバイス・児童生徒への安全指導を行う。事前に、団体の引率指導者が、活動内容、安全対策を考え、活動を行う。
3. 活動の安全を確保するため、監視ポイントを設けて活動を観察する。適宜、人数の確認を行う。このため、団体引率者は水の中に入る事を前提に準備する。
4. 活動プログラムは時間に余裕を持って時間設定する。
5. 川の増水、気温等気象状況により、活動が中止されることもある。
6. あらかじめ4～6人の活動班を編成しておく。
7. ボートの台数が限られている。そのため順番待ちの児童生徒への対応の仕方を事前に考えておく。
8. 荷物（携行品）の管理は、団体で行う。
9. 活動日、ラフティング実施団体が多い場合は、合同実施になる場合がある。
10. 開始時と終了時の人数確認を徹底する。

※引率指導者の目安

①小学校中学年以上一子ども5～6名につき1人＋全体指導者と監視役の大人4～5人

②幼児および小学校低学年一保護者同伴＋全体指導者と監視役の大人4～5人